

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 宮城県大郷町 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・大郷小学校 第4学年（1組33名、2組32名、合計65名） ・トヨタ自動車東日本ハンドボール部（6名参加）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教科名（ 体 育 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① イベント名（ ） ② その他（トヨタ自動車東日本ハンドボール部のハンドボール教室）
4 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドボール教室での体験を通して、ハンドボールという競技に興味・関心をもたせると共に、その楽しさを味わう。 ・地元の実業団のチームが存在し、地域のために様々な活動をしていることや、各方面で活躍していることを知る。
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドボールを使った鬼ごっこ →複数のボールを持った児童が、他の児童にボールを当てる。 ・ボール運びリレー →ペアになり、ボールを2人で 支え落とさないように運ぶ。 ・パスやシュート練習 →3～4人でグループとなり、 ハンドボールを互いにパスし 合う。 →実業団の選手にゴールキーパー をしてもらい、シュートす る。 ・ゲーム見学（実業団チームによる） →実業団チームの方に、実際にハ ンドボールのゲームをしても らう。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

<p>6 主な成果</p>	<p>・ハンドボール教室の最後には、「どうやったら、力強いボールが投げられるか?」「うまくパスをするコツは?」といった質問が、多くの児童から寄せられた。また、ハンドボール教室後に書いたお礼の手紙から、「楽しくハンドボール教室に参加できた」「ハンドボールのジュニアチームがあったら入りたい」といった感想が多く見られたことから、ハンドボール競技に対する興味関心をもった児童が増えたことが成果として挙げられる。他にも、休み時間に、サッカーゴールをハンドボール競技で使用するゴールに見立て、「ハンドボールごっこ」をして遊ぶ児童の姿が見られた。</p> 
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>・大郷町近隣にハンドボールの実業団チームが存在していることを受け、地元で根ざした活動の一環として、児童に体験教室をする機会を設けられるかを考えた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>・毎年行うことを前提とすると、以下のような点が今後の課題と考えられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 実業団チームと、学校の年間活動計画の日程調整について。 ② 複数学年が体験教室に参加する際の日程調整について。 ③ 児童の学習活動の位置づけ。(体育の学習をどの学習と関連付けるか) ④ 他市町村の学校も、同様の体験教室を実施するとなると、日程調整が難しくなる。 
<p>9来年度以降 の実施予定</p>	<p>・地元の実業団のチームがあり、児童に体験する機会を与えてもらえることはありがたい。児童にスポーツに対する興味・関心をもたせることができる良いきっかけとなることから、来年度以降も継続して体験教室の機会を設けてもらいたい。</p>